

(地域の概況)

昭和 45 年頃からの米の減反政策により、米に代わる作物としてニンニク栽培に取り組んできた。T 市の多くの圃場が黒ボク土で、肥沃な土壌を好むニンニクの生産性向上のために、リン酸質資材と大量の堆肥を投入し、酸度矯正にも努めてきた。当初は基肥や土壌改良資材を多く入れるほど、大玉・良品が収穫できていた。しかし近年、根腐れや春腐れの発生が見られるようになった。そこで、その原因を探り改善策を立てるために、生育状況の異なる圃場について、土壌化学分析を実施したところ、生育良好な圃場と、生育不良圃場、腐敗多発圃場で分析結果に相違が見られた。

(写真と土壌化学分析データ)

①生育良好な圃場

PH	CEC (Me/100g)	腐植 (%)	有効態リン酸 (mg/100g)	リン酸吸収係数	塩基飽和度 (%)
6.2~6.5	20~30	10~15	80~100	600~900	80~100



排水も良好で生育順調 (5月21日)



根張りも良好 (5月28日)



収穫間近 (6月26日)

②生育不良な圃場 (新規圃場に多い)

PH	CEC (Me/100g)	腐植 (%)	有効態リン酸 (mg/100g)	リン酸吸収係数	塩基飽和度 (%)
5.0~5.8	10~13	3~4	10~20	1800~2000	40~50



4月の段階でこの生育では後半枯れあがってきます

③腐敗が多発した圃場

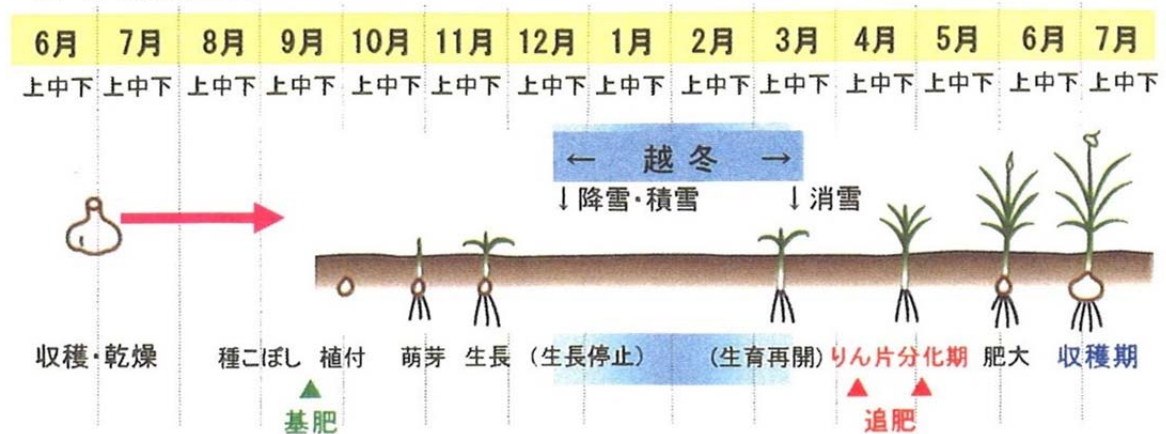
PH	CEC (Me/100g)	腐植 (%)	有効態リン酸 (mg/100g)	リン酸吸収係数	塩基飽和度 (%)
7.0~7.8	20~30	15~20	170~200	500~700	150~160



根が溶け出して腐敗が始まっている (5月15日)

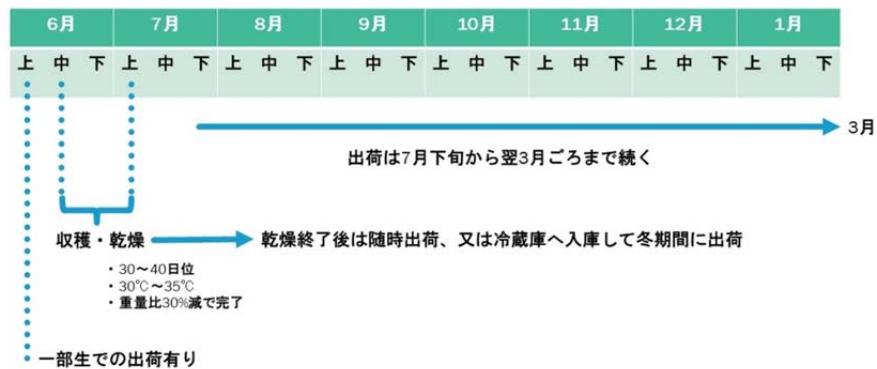
参考資料

ニンニク栽培の1年



2

収穫乾燥と出荷までの流れ



3

## 検討資料

\* 2017 年度初中級研修資料引用

### 1 地域の概況

- ・岐阜県の冬春トマト産地は平坦地における施設野菜の主力品目であり、生産者は単一品目による農業経営を行っている。
- ・かつては促成栽培（パイプハウス、10月中旬定植～6月下旬収穫終了）による栽培が行われてきたが、気象災害や所得向上のため、現在は、抑制長段栽培による周年栽培（鉄骨ハウス、8月下旬定植～7月上旬収穫終了）が中心となっている。
- ・栽培開始前に太陽熱土壤消毒を全生産者が実施。
- ・有機物供給として、栽培終了時に、畝間の敷きわらとトマトの残さの鋤込みを行っている。
- ・近年は若手生産者を中心に、太陽熱土壤消毒時の牛ふん堆肥施用が増えている。
- ・耕起前に土壤改良資材及び基肥（N P K 肥料）を施用し、生育中はチューブを用いた液肥（N P K 肥料）施用を行っている。

### 2 土壤化学性分析結果

圃場	生育・ 収量	土壤病害 発生有無	pH(H <sub>2</sub> O)	pH(KCl)	EC	腐植 %	可給態磷酸 mg/100g	CEC	飽和度%				石灰/ 苦土比	苦土/ カリ比
									石灰	苦土	カリ	塩基		
1	良	無	6.3	5.9	0.6	2.0	186	14	72%	37%	7%	117%	1.9	5.2
2	良	無	6.7	6.3	0.7	2.0	222	22	86%	28%	5%	119%	3.1	5.6
3	良	無	5.6	5.0	1.0	2.5	187	17	75%	25%	6%	106%	3.0	4.2
4	良	無	5.9	5.0	0.3	1.5	131	13	60%	18%	2%	80%	3.4	7.8
5	良	無	5.7	4.7	0.2	1.5	134	11	63%	17%	3%	83%	3.7	6.0
6	良	無	6.7	5.9	0.2	2.5	157	15	46%	21%	2%	70%	2.1	8.6
7	不良	無	6.6	5.7	1.5	1.5	206	15	153%	42%	12%	206%	3.7	3.5
8	不良	無	5.3	4.7	1.8	1.5	115	9	236%	52%	7%	295%	4.6	7.1
9	不良	無	5.4	5.0	1.4	1.5	149	13	157%	30%	12%	199%	5.2	2.4
10	不良	無	6.1	5.7	0.9	1.5	135	11	98%	27%	5%	130%	3.7	5.2
11	不良	無	6.2	6.0	1.0	2.0	165	15	116%	29%	6%	151%	4.0	4.6
12	不良	無	6.4	6.2	1.7	2.0	154	13	108%	45%	13%	166%	2.4	3.4
13	不良	有	6.5	6.4	1.9	2.0	385	19	89%	71%	23%	183%	1.2	3.1
14		有	6.0	5.7	0.9	2.0	393	16	78%	35%	13%	126%	2.2	2.7
15		有	5.9	5.3	0.4	3.0	619	18	63%	21%	11%	95%	2.9	1.9
部会平均値			6.0	5.4	0.8	2.0	185	15	87%	28%	7%	122%	3.7	5.0



抑制栽培



トマト萎凋病（F3）